

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

【特徴(強み)】

精神科病院に入院している方、または、障害者支援施設等に入所している方が、地域で生活するために必要となる支援体制の整備など、障がいのある方の地域移行の推進に係る課題や手法など官民協働で協議することができている。

課題	課題に解決に向けた取組状況		取組の成果
多様な居住の場の確保の推進に関すること。	支援者や宅地建物取引業協会側と共に支援体制の確認できる仕組みを本格実施していく。		「誰もが安心して暮らせる街づくり！」という名前のパンフレットを作成中である。
顔の見える関係づくりに関すること。	医療、障害福祉、介護保険分野の機能と役割が理解できるよう「交流講座」を開催した。		関係機関の役割について互いに理解が深まり、回を重ねるごとに関係が構築できている。
支援者自身が地域の社会資源を知らないこと。	支援者が地域での生活をイメージするための施設見学会を実施した。		見学会で得た知識を、退院支援に活かしている。
課題解決の達成度を測る指標	現状値 (現時点)※	目標値 (令和元年度末)	達成状況の見込み(評価)
①支援体制の確認できる仕組み	無	仕組みの完成	パンフレットが完成できる見込みである。
②「交流講座」の開催回数	3回	3回	達成済み。来年度も継続していく。
③施設見学会実施回数	2回	3回	達成見込み。来年度も継続していく。

※現時点の値が分かれば記入して下さい。分からない場合は、年度当初の値で構いません。

●指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。